

少年センターだより

発行 日野町少年センター
〒529-1602
日野町河原一丁目1番地
TEL/FAX 0748-53-1325
<http://www.rmc.ne.jp/h.g-s.c>

たかが「あいさつ」、されど「あいさつ」

少年センターでは、昨年から補導委員の方が中心になって、一日を元気よくスタートしてもらいたいと、『おはようから始まる楽しい学校』を合言葉に、各小学校で「朝のあいさつ運動」を行っています。あいさつにはたくさんの効果があると言われています。地域の子どもを知り、子どもにも地域の大人を知ってもらう、そしてあいさつのしっかりできる子ども達に育ってくれることを願っています。



一日の始まりを気持ちよくするチャンス！

あいさつは、するのもしられるのも気持ちがいいものです。一日の中で「気持ちいい瞬間」が感じられることはそう多くはありません。あいさつはその数少ないチャンスの一つです。昨日、いやなことがあって暗い気持ちが残っていても、朝にあいさつをすることで、子ども達に自然な明るさと元気があふれます。

笑顔になる機会を増やして、元気な学校生活を！

人はあいさつをするとき、無意識のうちに笑顔を作ります。心と体はつながっています。心に元気がないとき、まずは体から元気に振る舞うことで、心の元気が戻ってきます。子ども達の心が上向けば、元気な学校生活へとつながっていきます。

効果満点、リスクはゼロ！

日本語にはたくさんのあいさつの言葉があります。おはようございます、こんにちは、こんばんは、いってらっしゃい、おかえり、さようなら……。一日のうち、あいさつをするチャンスは何回もあります。そして、すぐに行うことができます。効果は満点なのに、お金も物も必要なく、リスクは全くありません。

子どもとの絆を強めて、安心・安全な地域作りを



子どもの登校時・下校時に、多くの地区や字で、保護者やボランティアの方が子ども達への声かけや見守りをしておられます。日によっては、たくさんの方がいろいろな所に立ったり子どもと一緒に歩いたりしておられます。子どもと大人がつながって強い地域の「絆」ができるとともに、子どもの通学の安心・安全も確保できます。

「心の密を」

滋賀県立日野高等学校 校長 太田 義人

日野町と日野高等学校は令和2年10月15日に「教育・文化まちづくりに関する連携協定」を締結させていただきました。この協定は、日野町への中長期的な定住志向の醸成を図ること、地域社会における生徒の健やかな成長や地元高校の一層の魅力化を図ることなどを目的としています。平素から、日野町の地域住民の皆様、行政機関、地元企業の方々等から日野高校へ温かいご支援をいただき大変感謝しております。心よりお礼申し上げます。

今年度、学校では新型コロナウイルス感染予防対策を講じながらの教育活動となりました。子ども達の学びを「工夫しながらできることをしよう」と子ども達や職員とともに考えながら進めています。密をさけ、人との不特定な交流を可能な限り抑えることが必要です。でも、このコロナ禍だからこそ、大切にしなければならないことにも気付けたのではないのでしょうか。人の心の密は大事にしたいですね。心と心をつなぐよい方法として、次の4つをお勧めします。皆様のご家庭・学校・職場・地域で、周りの人に4つのことばを届けてみませんか。素敵な心の密ができ温かくなれると思います。

- ・「おはよう」「こんにちは」「さようなら」のあいさつの言葉
- ・「ありがとう」の感謝の言葉
- ・「すごい」「素敵」「最高」「素晴らしい」のSのつく褒め言葉
- ・笑顔。「目は口ほどに物を言う」「目は心の窓」という言葉もあります。マスク越しですが、身近な周りの人にも意識して笑顔を。

大人も子どもも、この大変な時期を共に過ごしています。子ども達へも上の4つを届けてやってください。

この3月に卒業される皆さん、「ご卒業おめでとうございます。これからも健康で明るく笑顔で過ごしていきたいですね。」

最後に、日野高校の合言葉で閉じます。 **“「飛沫の刃」に気をつけて”**

子育て小窓

「春」という言葉に、皆さんはどんなイメージをお持ちでしょうか。3月を想像した人は「卒業」、4月なら「入学」や「就職」など、どこを基準に考えるかで全く違う印象になりますよね。学生さんの場合はクラス替えや担任の交代など、卒業や入学に関わらず、春には環境の変化が起こります。「就職」となるとなおさらです。そういう意味では、「春」＝「変化の時期」と言えるでしょう。

これから一緒に生活するメンバーや場所が変わることは、とても大きな変化です。人によっては過度に緊張したり、不安になったりすることがあります。春の時期(学期)というのは、変化を意識した行事や大人からの声かけが増え、変化への不安が出てきやすい時期です。普段とは違う行動をしたり、落ち着かなかったり、不安な気持ちがあることで動きにくくなったりします。もし、お子さんの様子がいつもと違うなと感じることがあれば、そんな可能性を少し考えてみてください。変化の先にある楽しいことに目を向けられるような声かけがあると、安心できるかもしれませぬ。

(日野町子育て・教育相談センター Y)

令和2年中の東近江警察署管内の少年非行の現状

少年の検挙・補導状況（令和2年）

		令和2年	令和元年	前年比
刑法犯少年	犯罪少年	18	22	-4
	触法少年	12	9	3
	小計	30	31	-1
特別法犯少年		10	8	2
不良行為少年		181	225	-44
合計		221	264	-43

刑法犯少年検挙補導状況

- ★刑法犯で検挙・補導された少年は30人で、前年に比べて1人減少しています。
- ★刑法犯のうち最も多いのが窃盗犯で、万引きが4人、オートバイ盗4人、自転車盗1人、その他7人の計16人です。
- ★窃盗犯以外の刑法犯として、暴行・傷害、建造物侵入等で、14人が検挙・補導されています。

不良行為少年補導状況

- ★不良行為での補導は181人で、前年に比べ44人減少しています。
- ★行為別では、喫煙が最も多く73人、次いで深夜徘徊が60人、粗暴行為14人、怠学12人、飲酒3人、その他の行為19人でした。
- ★学識別では、中学生が49人、高校生45人、無職少年40人、有職少年33人、小学生10人、その他の学生3人、未就学児1人が補導されています。



東近江警察署
マスコットキャラクター
「さんぽうくん」

インターネットやSNSの被害から身を守るために

近年、全国でSNSに起因する犯罪被害が増加傾向にあり、SNS上のやりとりをきっかけに未成年者誘拐やわいせつ行為等といった犯罪の被害に遭う子ども達が増えています。SNSには、性的な目的で子どもを狙う犯人が潜んでおり、だまされたり、おどされたりして子どもが自らの裸や下着姿を撮影し、メール等で送らせる被害が増加しています。このような被害に遭わないために『家庭でのルールづくり』『フィルタリングの利用』『SNSの危険性を認識すること』が大切です。

交通事故について

令和2年中、東近江警察署管内での人傷事故の発生件数は289件でした。その中で子どもが関わる事故は、幼稚園児1件、小学生3件、中学生5件、高校生11件でした。

自転車に乗る時は、ルールを守り、安全な利用を心がけましょう。

勉強を教えてくれる/ 大学生ボランティア募集

「勉強の仕方がわからない。授業についていくのが大変。でも高校には進学したい」と思っている中学3年生を応援するために、少年センターで毎週金曜日夕方6時から2時間学習する「子どもの学習支援事業IPPO（一歩）」を開催しています。中学生に寄り添って、話しながらともに学んでくれる大学生サポーターを募集しています。

電話 53-1325

E-mail hino.t-syonen.c@rmc.ne.jp

「薬物乱用防止教室」を行いました

日野町少年センターでは日野ライオンズクラブと東近江警察署の協力を得て、小学校6年生を対象に、薬物乱用防止教室を開催しました。

子ども達には未成年者の飲酒・喫煙は害が大きく法律で禁止されていることや、薬物乱用は心身の健康に深刻な影響を及ぼすことなどを学んでもらいました。

近年、芸能界などでも大麻問題がよく報道されていますが、大麻をはじめ危険ドラッグ等の薬物はインターネット上の違法サイトやSNS等を通じて青少年でも簡単に手に入れることができます。もし誘われても強い気持ちで「ダメ。ゼッタイ。」そして「はっきり断る」など自分を守る行動がとれる青少年に育ててほしいものです。



薬物乱用について、いけないとは分かっていたけれど、どういう影響があるのかをあまり知らなかったので、薬をやってしまった人の反省文を見たときはすごくしょうげきをうけました。

(桜谷小)

今日の授業で薬物の危険性やお酒やタバコの依存症についてよくわかりました。大人になっても、この授業を思い出して生活していきたい。

(南比都佐小)

つぶやき

昨年4月から、少年補導委員をさせてもらっています。少年補導委員の仕事として、青色パトロール車による街頭補導、中学校や小学校での朝のあいさつ運動などを行っていますが、子ども達のいい変化に気づきました。

日野駅で電車から降りてくる高校生等に「おかえり」と声をかけると、「ただいま」と返ってきます。小学校や中学校の校門前で朝「おはよう」と声をかけると「おはようございます」と返ってきます。とても気持ちのいいものです。また、中学生がみんなしっかりヘルメットをかぶっている姿にも（ビックリ）感心します。

「今どきの子どもは・・・」と大人はよく言います。私もその一人でしたが、日野の子ども達は以前と比べるとずいぶん変わったなあと思います。

大人からのさりげない声かけの大切さを思うと共に、私も少年補導活動を通して、声かけやあいさつ運動を頑張っていきたいと思います。

日野町少年補導委員 谷 たづ子

ひとりで悩まないでまずは相談を!

少年センターでは、少年に関する悩みや心配ごとの相談を行っています。本人だけでなく、家族の方の相談も受けています。お気軽にお越しください。秘密は厳守します。

○電話相談 ○面接相談 ○相談時間：月～金 9:00～16:30

日野町少年センター (日野町勤労福祉会館 2階)

電話 0748-53-1325 E-mail hino.t-syonen.c@rmc.ne.jp



メールアドレス
QRコード